



蕭望之書持節者伊藤為吉
 一人「半」之建築
 技術之修飾者也
 一種之奇巧也
 種々之創思發明
 新年家屋之構造
 地震豫防之方法と工夫
 之世に當りて
 當り努力を又職工軍團
 一人一人
 事業の責任大なる事
 之を此の久く
 車通し人
 部下之竭く自決の上
 此の端自向
 存報へ概略地之
 代へ百集殿
 以て見る所へ敬具

大隈伯爵閣下
 嶋田

大隈伯爵閣下



一種の奇巧な屋敷に、里四
柱を、創思發の力、
新年の家屋の構造の
地震豫防の方法を工夫仕
之を世に廣くせしめんと
當ら努めたり又職工軍團
の者も是れ一箇々として
工書の責任大なる事なり
是れ此の如く久く骨折、
車通、人、下、
地下の端、自況の上、
心算端、自況の上、
存新屋、概算、地、
代、
引見、
敬具

大隈伯爵閣下

大隈伯爵閣下
嶋田三郎

大隈伯爵閣下

大隈伯爵閣下
嶋田三郎

嶋田三郎